

**第 2 次総合振興計画後期基本計画「現状と課題」（素案）
審議会委員からのご意見及び浜田市の考え方**

No	ご意見の概要	浜田市の考え方
I 産業経済部門		
1 水産業の振興（P1）		
1	<p>のどぐろなどの全国的なブランド化が進んでいる一方で、どんちっち三魚などのブランド化への取組においては生産者や仲買人との連携が希薄であり、関係者間で価値観への共通認識を持ち、情報発信の工夫をしながら県内外への知名度を高める必要があると思う。</p>	<p>（産業経済部） どんちっち三魚については、生産者や仲買業者、水産加工業者、行政等で構成する「浜田市水産物ブランド化戦略会議」がブランド化の推進を行っています。情報発信については、ご指摘のとおり各関係者の連携を強化し、認識を共有しながら効果的な方法を検討し取り組んでまいります。</p>
2	<p>地球温暖化に伴い水揚量の急速な減少が続いており、水産資源を持続的に保持するために栽培漁業を推進する（稚魚・稚貝放流など）</p>	<p>（産業経済部） 水産資源の減少は、大きな課題であると認識しています。対策として、ヒラメの稚魚の放流や稚貝、稚ウニの放流などについて継続して取り組んでまいります。</p>
3	<p>魚価の低迷については、コロナの影響もあり厳しい状況、漁船の老朽化については、やはり 30 年以上という船齢であり、早急に考える必要があると思います。 新船の建造も 5～6 年待ちの状態です。（造船鉄工所） 漁業就業者や後継者不足の対策でも各社努力しているが、厳しい状況である。</p>	<p>（産業経済部） 地元漁船の維持・存続は最重要課題と認識しています。今後も生産者様のご意見を伺いながら、漁船の老朽化対策、担い手の確保対策について取り組んでまいります。</p>
4	<p>販路拡大対策において、どんちっちブランドの店舗数を増やす努力より、提供する商品や項目、販売形態をよく考えるべきだと思います。</p>	<p>（産業経済部）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
5	<p>若い世代は魚をさばくことを敬遠しています。（手が臭い、魚をさばけない、ゴミの処理に困る）料理しやすい形態に加工販売する工夫を販売店と連携して行う、学校給食センターや子育て支援センターなどと連携してCook Pad 浜田びびいくん食堂へレシピを公開する、レシピに合わせた素材の加工提供など、若い世代への消費が増えるような仕組みを考えていただきたい。</p>	<p>（産業経済部）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>

2 農林業の振興（P3）		
6	農家の戸数・世帯員数の推移を目標にしているが、規模拡大を目指せば、農家数は意味をなさない。水産同様、農産物の出荷額、販売額にすべきではないでしょうか。	<p>（産業経済部）</p> <p>目標設定については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
7	コロナ対策について記載がない。後期4年間は影響があると思われるので、一括または一項目でも触れるべきではないでしょうか。	<p>主要施策等において新型コロナ対策の記載はありませんが、新型コロナ対策については、国・県・JA等の関係機関と協力し、支援策を実施しています。</p> <p>今後も引き続き情報共有を図り、事業実施に努めてまいります。</p>
8	農業について、「地産地消」についても触れてほしい（地元スーパーでは地元で採れた野菜を常設コーナーで売っている店もあるが、地元の農業をより一層盛り上げるべく生産者と消費者を繋ぐ場を拡大するための地産地消の支援を行う必要があると思う）	<p>（産業経済部）</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
9	価格低迷や担い手不足は、「水産業の振興（P1）」と同様で、具体的な対策が必要であると思います。	<p>（産業経済部）</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
10	担い手不足に対するアプローチについて、農業系の高校や専門学校への進学働きかけや助成を考えていただきたい。	<p>（産業経済部）</p> <p>取組や施策については、骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
11	ブランド作物の取り入れについて、他の市町村でのブランド作物の計画や販路などは参考になると思います。作物だけでなく、樹木、花の栽培にも力を入れるなど、古い農業のイメージを変える戦略も必要と思います。	<p>（産業経済部）</p> <p>取組や施策については、骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
3 商工業の振興（P5）		
12	コロナ禍で前年度に引き続き小規模事業者の製造業等は観光客の訪れも少なく、イベント等も実施できない状態の中での商売は、先の見通しができない。商売持続のための策を全体で考えるべきだと思います。一時的な支援も大切ですが、それぞれが連携を保ち次につながる取組みが必要だと思います。	<p>（産業経済部）</p> <p>小規模事業者の情報発信やキャッシュレス決済への対応を支援し、新たな顧客確保を促進するとともに、「BUY浜田運動」などによる地域内経済循環の推進に努めてまいります。</p>

13	<p>商店街は店舗と居住が併しているものが多く、空き店舗には居住している人もいることから、空き店舗対策ばかりを練るのは難しいと思います。</p> <p>“商店街”という考え方を改める時期なのではないか。</p> <p>店舗や事務所、駐車場を完備した“エリア”の構築を考えていただきたい。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
14	<p>小売りでも子ども用品（衣類や文房具、学校用品、部活動で使用するもの）や介護用品など、何かあった時に急を要するものの販売は持続できると思います。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
15	<p>浜田市産商品のコンビニやチェーン店、大手スーパーへ向けた市内での流通や取り扱いを強化する取り組みを考えていただきたい。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
<p>5 観光・交流の推進（P10）</p>		
16	<p>今年リニューアルオープンした浜田お魚センターに数回行って見たが、全体的に浜田の魅力がアピールできていない印象だった。土産コーナーは地元の製品の陳列が少なく（むしろ出雲や安来のお菓子などが目立っている）購買欲をそそるような商品がほとんどない。フードコートでは、集客の目玉である海鮮丼の単価が高く、中華料理店は意味不明。もっと温かく地元感のある店にするべき。鮮魚の種類と価格、サービス面も含めて、来て良かったと思わないと、県内外からリピーターは見込めないと思う。お魚センターをもっと魅力ある拠点にしないと浜田の観光も発展しないと危惧している。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
17	<p>「はまだお魚市場」のお土産品のコーナーですが、浜田を感じられない。他の市の物が多く、浜田市の業者の商品が少なく、まるで〇〇の為のコーナーのように見える。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
18	<p>コロナ以前に宿泊客数や観光客数は減少傾向にあると思うが、令和2年以降、市内の「宿泊客数」はどうなのか？三隅火電建設関係で、ホテルや借家なども含めいっばいと聞く。一般客を断る現状もあったと聞いた。現状はどうなのか？すべてが減少傾向と一括りにするのではなく、実情を表記すべきでは。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>ご指摘のように令和2年は三隅火電関係の需要もあり、宿泊者数は前年比約96%でした。しかしながら観光入込客数は前年比約63%と大きく落ち込み、新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響したものと分析しています。</p> <p>浜田駅エリア周辺にホテルが新設され、市全体で宿泊定員が増えたことなども考慮しつつ、観光かそれ以外の需要によるものかは注視していきたいと考えています。</p> <p>※「現状と課題」に追加します。</p>

19	<p>「お宝観光資源」の商品化の一部が「はまごちツープライス料理」「浜田の五地想ものがたり」(前期計画の内容)なのか不明だが、コロナ禍において県外からの集客に期待してばかりも厳しい。外に目を向けるだけでなく、地元市民に地元で消費してもらう施策や飲食店側への支援も課題として必要では。</p>	<p>(産業経済部) 「浜田の五地想ものがたり」等の取組については、観光客へのPRにあわせて、浜田市民への利用促進や地元飲食店への支援も重要なポイントと考えております。「BUY 浜田運動」、「浜田港四季のお魚」認証店の取組などとも連携しながら、幅広いPRに努めてまいります。</p>
20	<p>宿泊数について、進捗評価においてビジネスなのか、観光なのか、分野別に数値が公表されていないかったため、どの分野が弱いのがわかりませんでした。</p>	<p>(産業経済部) 目標値については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
21	<p>「浜田市と言えは〇〇」というものがない限り、観光を見込んだ集客や売り上げにはつながらないと思います。また「温泉」だけでは集客できない時代なので、プラスαの企画を地域ぐるみ(特に旭、金城)で興すことを考えてほしい。</p>	<p>(産業経済部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
22	<p>「しまね海洋館アクアス」から「はまだお魚市場」まで車で約25分という距離をどのようにとらえて観光推進していくか、もっと具体的に考えていただきたい。</p>	<p>(産業経済部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
23	<p>合宿誘致について、前期計画の進捗評価には項目があったにも関わらず、後期計画では一切触れられていません。スケートリンクを存続させるのであれば、フィギュアスケーターに対する合宿誘致を本格的に考えてみるなど、既存の施設を有効的に活用した誘致について考えていただきたい。また、こども美術館や石正美術館などきれいな文化施設があるのは、他の市町村に比べて良いところであるので、これらを利用してもらえる取り組みを考えていただきたい。</p>	<p>(産業経済部) 合宿事業につきましては、スポーツ合宿、文化合宿を問わず、市内の施設の有効活用と交流人口の拡大を目的に継続して実施したいと考えております。今後も、当市の補助制度を活用した合宿について、様々な繋がりを利用しながら、中国地方を中心に多方面にPRしていくこととしています。 ※「現状と課題」に追加します。</p>
<p>6 企業立地による雇用の推進 (P12)</p>		
24	<p>「人手不足の現状はあるものの、技術力や生産性が高く、専門的な人材の雇用が見込まれる新たな業態や若者にとって魅力ある働く場の確保のための企業誘致の推進が求められています。」←この文章の意味が文脈的によくわからない。企業誘致を推進する一方で、専門的な知識や技術を持つ人材の育成に力を入れる必要があると思う。職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)だけでなく、各種資格を取りやすいような教育・環境整備が必要だと思う。</p>	<p>(産業経済部) ご質問の文章は、簡潔でわかりやすいものとなるよう検討します。 人材育成については、引き続き関係機関と連携し、環境整備に努めてまいります。</p>

25	立地がない浜田市では難しい話なので、企業誘致＝立地確保ではなく、今ある企業が業績拡大できる仕組みを構築することも重要だと思います。	(産業経済部) 島根県及び浜田市の企業立地優遇制度において、事業規模拡大に対する支援も行っており、継続支援してまいります。
産業経済部門全体 (P1～12)		
26	水産業や林業の現状と課題は記載しているのですが、今現在具体的に行っている対策というのを知れたらと思います。	(産業経済部) 対策につきましては、当計画の部門ごとに設定した基本方針に沿って、主要施策を掲げ、具体的な取組を進めてまいります。
II 健康福祉部門		
1 医療体制の充実 (P13)		
27	ここ数年、江津市は医院の新規開業が多いように思います。浜田市内の医師も高齢化が進んでいる医院もあり、かかりつけ医が減少することが心配です。浜田市内への新規開業を進める取り組みをしてください。	(健康福祉部) 浜田市内の有床無床診療所にかかわらず、後継者不足の問題があります。問題解決には、新規開業や医業継承(第3者含む)があります。しかし、医師を目指す若い世代に、開業医ではない勤務医への希望が多いことも事実であります(※1)。 この問題解決には、医師や医療に携わるものだけでなく、地域を巻き込んだ活動、医療や福祉に関心のない方も含めた活動となるよう地域全体として取り組む活動も必要であります。(浜田市の健康づくりと地域医療を守る育てる条例) あわせて、新規開業や医業継承にかかわる経費の補助などハードでの政策も必要であると認識はしています。 現在、地域の医療に関心をもてる総合診療医の育成に取り組んでいます。臓器別の専門医も必要ですが、総合診療医等、地域で医療に関わりたい医師を増やすこと、あわせて、地域として医療を支える活動が問題解決につながるものと認識しています。 (浜田市と江津市の5年の医療機関情報(新設、廃業、病床数の変化、代表者の変更など)を浜田保健所から情報提供医依頼中) ※1 島根県内における後期(専門)研修に関するアンケート調査 対象:島根県内で初期研修を行う2年目の研修医(回答数8割以上) 設問:将来勤務したい勤務形態 H28:該当43 回答数34の内 勤務医23名、開業医2、無回答など9 H29:該当58 回答数48の内 勤務医33名、開業医3、無回答など12 H30:該当48 回答数42の内 勤務医31名、開業医1、無回答など10

2 健康づくりの推進 (P14)		
28	健康寿命を延伸するための行政としての取組みは、どのようなことを考えているのか明確に記載してはどうか。	(事務局) 行政としての取組や考えについては、「基本方針」や「主要施策」に記載していきます。
29	健康寿命延伸に向けて、自然に健康になれる食環境づくりをあらゆる世代に推進する取組みが必要と思います。高齢者には社会参加ができる環境づくりの啓発も必要と思います。	(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
30	がん検診率の低さについて、公務員やその家族の受診はどのように反映されているのか。	(健康福祉部) がん検診については、浜田市民で対象年齢であれば加入の医療保険にかかわらず、どなたでも受けられます。 市が把握できるのは市が実施するがん検診の受診者のみで、職場のがん検診は、事業所の住所しか情報を持っていないために浜田市民の人数を把握する方法がないのが現状です。また、個人的に医療機関で検診を受けている場合は、検診と治療のための検査を区別することが困難で把握ができません。 市が把握している人数のみが受診率に反映されています。
31	がん検診受診率向上のためにも、市民に無料化を更に伝えるべきと思う。受診金額を明記し、無料化を示すと意識も違うのではないのでしょうか。声掛け、誘い合いの必要性も推進してほしい。未受診者に対する意識啓発の取組みをお願いします。	(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
32	健康長寿しまね推進計画との連携を強化してはどうか。	(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
3 子どもを安心して産み育てる環境づくり (P15)		
33	まちづくりセンターと一体となった情報提供を進めて欲しい。	(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
34	母子手帳アプリの導入など、若い世代の意見をもっと聞いてほしい。子育て世代から意見を聞いても、5年はあるという間に経過し、世論や考え方はその時々で変わります。スピード感を取り入れてください。	(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。

35	<p>三人目出産に対する助成について、ここ2年以内で分母が急激に増えない上に（産む人の人数は限られている）、お金をあげるから産んでくださいというのは少し違うと思います。金銭的に厳しくても三人目を出産している世帯はあります。また、二人目出産について、金銭面や環境面で産めないのか、欲しいのに恵まれないのか、理由が知りたいと思いました。</p>	<p>(健康福祉部) 島根県が平成30年度に実施した「島根県子育て・結婚支援に関する意識調査」によると、実際に予定している子どもの数が理想より少ない理由は、「子どもを育てるのにお金がかかる(48.8%)」、「高年齢や体質などから出産が難しい(38.0%)」、「仕事との両立が難しい(22.2%)」(複数回答有)となっています。新生児子育て応援金は、こうした背景から制度化したものです。</p>
36	<p>特定不妊治療費について、一人目二人目に関わらず、申請するのに時間や労力がかかるのであれば、軽減する仕組みを考えていただきたい。</p>	<p>(健康福祉部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p>
4 高齢者福祉の充実 (P16)		
37	<p>「重層的支援体制」とあるが、どのような体制が明確に記載しては。</p>	<p>(健康福祉部) 用語を明確にするため、以下のとおり説明を含めたものに変更します。 「重層的支援体制」 →課題や相談を受け止め、市、地域住民、関係機関多職種がその情報を共有することにより、本人を支え続ける地域づくりを行う「重層的支援体制」</p>
38	<p>「重層的支援体制」の用語の意味が分からない。専門用語？</p>	<p>(健康福祉部) 上記のとおり</p>
39	<p>老老介護もだが、8050問題への現状と課題については浜田市では全く問題ないのか？データの的なものがあれば知りたい。</p>	<p>(健康福祉部) 今年度より、ひきこもり対策関係部署連絡会議を立ち上げ、8050問題について話し合いがされています。相談件数からも8050問題に関する相談もあり、各関係機関が関わって対応しています。今後も、各部署からの情報共有を密にしながら、体制整備をし、取組方針を立てていく方向です。</p> <p>R2市のひきこもり相談数</p> <p>1. 健康医療対策課(健康福祉部内関係部局含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 253件 ・来所・訪問 11人(実人数) 内訳(年代別) 10代 1人、20代 2人、30代 1人 40代 2人、50代以上 5人 ・来所・訪問 28人(延人数) 内訳(年代別) 10代 1人、20代 4人、30代 1人 40代 5人、50代以上 17人

		<p>2. 青少年サポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 223 件 内訳（年代別） 20 歳未満 16 件、20 歳以上 207 件 ・相談実人数 16 人 内訳（年代別） 20 歳未満 2 人、20 歳以上 14 人
5 障がい者福祉の充実（P17）		
40	<p>8050 問題にもつながるが、引きこもりなど精神障害を抱えている人も増えていると聞くが、現実問題として現状はどうか？</p> <p>福祉関係者からそういった家庭が増えていると聞く。深刻な社会問題でもあるのに当事者は声を上げにくく、そういった人たちこそ疎外感を感じる事がないよう、触れておくべきではないか。</p>	<p>（健康福祉部）</p> <p>ひきこもり対策としては、平成 26 年度から現在の健康医療対策課内にひきこもり相談窓口を設置しており、平成 27 年度から設置された島根県ひきこもりセンターや浜田保健所と連携し、小集団グループ活動や研修会・家族教室を開催するなど、相談等に対応をしております。</p> <p>ひきこもりの方が必ずしも精神障がいがあるとは限りませんので、計画に挙げるとすれば、「2 健康づくりの推進」に該当する課題となりますが、少子高齢化、核家族化、単身世帯の増加などの社会構造の変化や、経済状況の変化により、市民のみなさんが抱える生活課題や困りごとは多様化、複雑化しております。高齢者福祉や地域福祉、障がい者福祉にまたがる問題も多く、全ての課題を計画に挙げることは困難ですが、ひきこもり対策につきましては、部門を超え、連携して支援を行ってまいります。</p>
Ⅲ 教育文化部門		
1 学校教育の充実（P19）		
41	<p>GIGA スクール構想について、ICT 技術者配置支援または在宅オンライン学習に必要な通信環境整備は、どのように進むのか。</p>	<p>（教育部）</p> <p>ICT 技術者については、市内の IT 事業者と ICT 支援員を連携させ、学校を支援します。</p> <p>在宅オンライン学習では家庭の通信環境を使用し、家庭に通信環境がない児童生徒については、オフラインでの課題配布を中心に行い、遠隔授業等により通信環境が必要な場合は、学校やまちづくりセンターに少人数ずつ集めて通信環境を確保してまいります。</p>
42	<p>ICT 機器を上手に使いこなせているのか心配であり、ICT 機器を活用する際、先生への対応はどうしているのか知りたい。</p>	<p>（教育部）</p> <p>ICT 支援員を各校へ配置し教員への操作支援を行っており、また、夏季休業中に学校教育課が主催する研修や、ICT 支援員による各校での個別研修を実施しています。</p>

43	食育での学校給食で、地産地消は大変良いと思います。私たちの団体でも何かできないかと考えています。((一社) 島根県機船底曳網漁業連合会浜田船主部会)	<p>(教育部)</p> <p>水産物をはじめとする地元産物を学校給食に取り入れることは食育を推進するために重要であると認識しています。しかし、サイズや数量の関係で断念することもあり、それらを解決するために関係各所(生産者・仕入業者・行政)で連携し、地産地消をさらに推進していきたいと考えております。</p> <p>今後、何が協力できるか検討できればと考えております。</p>
44	「各学校で人権教育と子ども一人ひとりの自尊感情を育むことについての重要性とともに、学力向上に向け教職員が子どもと向き合う時間を確保することが必要」とあるが、学校内だけでこの課題に対することは不可能。行政としてはどう関わるのか。	<p>(教育部)</p> <p>子どもの自尊感情を育むには、学校だけでなく、家庭や地域の関わりも大切なため、3者が共通認識を持てるように取り組んでいきます。</p> <p>教職員が子どもと向き合う時間の確保については、行政もそのための制度や仕組みづくりに努めてまいります。</p>
45	教職員が子どもと向き合う時間を確保できるような環境づくりを進めてください。例えば「校務支援システム」や「保護者連絡ツール」の構築や導入など、子どもにタブレット学習を実施する時代に学校業務がアナログなのは時代錯誤と思います。	<p>(教育部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
2 家庭教育支援の充実 (P20)		
46	共働き世帯の増加に伴う放課後学級の児童数が増えて、またスポーツや習い事のために夜寝る間際まで家にいない世帯も少なくありません。こういったことから子どもを取り巻く環境について関心が薄い保護者が多い印象です。親学は過去に実践したことがあるものの、1回の参加だけでは効果が薄く、持続が難しいと思いました。間隔を広げずに回数を続けていくプログラムなどを考えて進めてほしいと思いました。地域に助けを求めることも重要ですが、まずは各家庭での取り組みなどを重要視すべきだと思います。	<p>(教育部)</p> <p>島根県教育委員会が構築した親学プログラムに、乳幼児期のプログラムをあわせた浜田親子共育応援プログラム(通称HOOP!)により、家庭教育に関する講座の実施等、学習機会の提供を行うとともに、保護者間の交流を図っております。</p> <p>現在は単発のプログラムのみですが、複数回参加できるシリーズ型のプログラムの実施等、より効果的な家庭教育支援ができるよう検討してまいります。</p>
3 社会教育の充実 (P21)		
47	図書館の2階スペースをどう活用しているのか知りたい。上手に活用している例があれば紹介してほしい。	<p>(教育部)</p> <p>図書館主催または共催イベントの会場としての使用をはじめ、様々な会議や、研修会、講演会などの利用があります。共催イベントの際には、館内にイベントのテーマに関連した図書を紹介コーナーを設置し、連携を図っております。</p> <p>また、各種団体などによるイベントや、セミナー、スマホ教室などの利用実績もあります。</p>

48	異世代交流だけでなく、単世代、特に子ども世代だけの交流や取り組みを小学生の中学校区内でもっと進めてほしい。	(教育部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
4 生涯スポーツの振興 (P22)		
49	「生涯スポーツ」という括りではあるが、五輪での三浦龍司選手の活躍は子供から大人まで全ての人に夢を与えてくれた。また、浜田には地元で頑張っている「ベルガロッソ浜田」や「ポルセイド浜田」といったチームもあり、多くの地元企業が応援している。スポーツを身近に感じさせてくれる存在があるのだから、現状として触れるべきではないか。国民スポーツ大会以前に、こうした存在があるからこそ夢や希望の創出につながる施設の整備は前提だと思う。	(教育部) 三浦龍司選手や地元チームは、市民に夢や希望を与える存在であり、彼らを育み、また活躍の場となっているスポーツ施設の存在意義は大きいと認識しております。いただいたご意見をもとに、現状の記載を修正いたします。
50	スポーツイベントの周知や、各団体が練習に使用できる建物の公表などをもっと進めてほしい。	(教育部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
51	浜田市野球場、石見武道館、浜田市陸上競技場が同時にイベントを実施すると、駐車場が必ず不足します。東公園の駐車場不足解消を考えていただきたい。	(教育部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
5 歴史・文化の伝承と創造 (P23)		
52	子どもも大人も芸術文化を身近に触れる環境は大切。文化芸術活動施設として利用が減少している理由は、企画内容ではなく、各芸術団体も市民も利用しにくい状況（施設貸出料が高い、駐車場、交通手段）があるのではないかと思う。市民の声を取り入れているかを問う。 市民が参加しやすく利用しやすい環境づくりが文化活動の活性化につながると考える。	(教育部) 市民の方の声を取入れることは重要と考えております。 石央文化ホールでは、昨年度、アンケートだけでなく市民利用者の方との意見交換を行い、館内表示や階段手摺の設置などを実施しました。 美術館においても、市民の方の声を取入れて館内表示の設置などを実施しております。
Ⅲ環境部門		
1 特性を活かした景観形成の推進 (P25)		
53	これは都市計画の分野なので環境部門で取り上げることはないのでは？ 景観条例を策定した後の保全努力の内容について公表する、不要建築物の撤去などに助成金を出すなど、力を入れてほしい。	(都市建設部) 景観形成については、環境の保全・美化活動が大きく関係するため、現在の前期基本計画から環境部門で取り上げています。 今後も市民の保全活動等が継続して行われるよう周知に努めます。危険空き家対策については、「危険空き家対策事業」で除却費の一部を補助していますが、引き続き対策を講じていきます。

2 環境保全と快適な住環境づくりの推進 (P26)		
54	<p>環境美化活動を推進してほしい。浜田市は海の美しさが何より印象的だが、県外からの視点で見ると、海の景観以外に街の美化についてはおさなりのように見える。街路樹、道路植栽など落ち葉が散乱したり雑草が伸び放題になっている。学校や地域で街の環境美化についての話し合いや活動を持ち、また訪れたいと思う町、帰りたくなる町、心なごむ町を目指して自分たちの住環境を清潔に美しく、誇りあるものにしていこうとする取組みを望む。</p>	<p>(市民生活部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
3 地球温暖化対策の推進 (P27)		
55	<p>「公共施設に太陽光発電システムやバイオマス発電設備を整備する等の取組…」とあるが、現時点の施設数を知りたい。太陽光など発電事業者が増えていると思うが、現状の施設数。国の目標に合わせて、浜田市は再生可能エネルギー等の具体的な目標はあるのか。基本方針や主要施策で説明するとは思いますが、グラフ等、数値で知りたい。</p>	<p>(市民生活部)</p> <p>浜田市の施設として合計 358 施設があり、そのうち太陽光発電設備が 5 施設、太陽熱利用設備が 1 施設、バイオマス熱利用設備が 1 施設あります。大型の再生可能エネルギー施設として市内にはある民間施設は、太陽光発電が 6 施設、風力発電が 2 施設あります。</p> <p>浜田市地球温暖化対策実行計画では、目指す将来ビジョンを「省エネルギーと創エネルギーの両輪で人と地域の元気を支え続けるまち」と定め、参考目標値として 2030 年の浜田市の温暖化効果ガス排出量を 2013 年と比べ 28.4%削減することを掲げております。</p>
4 循環型社会の構築 (P28)		
56	<p>ごみ排出量が一人当たりで増えていることに対して、分別をしっかりと行う必要があると思います。資源ごみと可燃ごみの分別で原料化にも繋がります。一人ひとりの食品ロスも大切な取組みとなりますので推進をお願いします。</p>	<p>(市民生活部)</p> <p>人口減少に伴いごみの総排出量は減少していますが、一人当たりのごみの排出量は増えています。要因としては、最近の断捨離や空き家の片付けに取り組む人が増え、一人当たりの量が増加していると考えます。</p> <p>市としても引き続き廃棄物の分別や適正処理、リサイクル、リユースなどの 4R 運動、食品ロスの推進に取り組んでまいります。</p>
57	<p>市民が持ち寄ることができる資源ごみの回収所を増やす取組みを進めて欲しい。</p>	<p>(市民生活部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>

58	学生がアパートを退去する際に、2, 3年しか使用していない家具や家電などがゴミステーションに出されており、ゴミとして処理されているのが大変もったいなく思います。これらをリサイクルできる仕組みを大学と考えていただきたい。	(市民生活部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
V 生活基盤部門		
2 公共交通の充実 (P 30)		
59	高齢者に対する公共交通は手厚いものと感じておりますが、その利用者も全体的には手の届かないところもありますので、今後とも交通弱者に対する取組みの強化をお願いします。	(地域政策部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
60	「高齢者の運転免許証保有率の上昇と…」とあるが、一方で高齢者の免許返納率の実情はどうか。免許返納問題と移動支援の充実も市民の関心事ではないのか。	(地域政策部) 高齢者の運転免許証の返納率は、概ね横ばいで推移しています。 移動支援の充実を図ることで、高齢者が安心して運転免許証を返納できる環境づくりに努めてまいります。
61	運転免許返納者のニーズの応えた公共交通機関の運用を策定して欲しい。	(地域政策部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
3 地域情報化の推進 (P 31)		
62	「ケーブルテレビ回線の光化で、都市部との情報通信格差が緩和される」という表現は、短絡に過ぎないか？	(地域政策部) 「この整備により、都市部との情報通信基盤の格差が緩和されます」に修正します。
63	「ICTを活用した行財政改革のための分析提案及び施策」とあるが、市民を意識した表現とは思えない。	(地域政策部) 表記の文章を市民を意識した表現に改めます。
4 充実した都市基盤の整備 (P 32)		
64	無駄な都市計画道路の見直しをしてください。長年計画がある一方、施工が全く進みません。	(都市建設部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
65	準防火区域内における新築や改築の促進を考えていただきたい。周布・国分地区へ新築が進み、住民が流れ、市街地中心部が空洞化し、旧市内の小中学校の児童数が減少しているため。	(都市建設部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
66	「効率的でコンパクトな都市づくり」と表記すると、中山間地域に住んでいる人は今以上に不便になるのではないかと思います。「効率的で暮らしやすい都市づくり」の方が良いのではないかと思います。	(都市建設部) 「コンパクトな都市づくり」は、生活に必要な機能が集積した拠点を各地域でつくることを意図しています。市街地と山間部のそれぞれにおいて、便利で持続可能な拠点づくりを進めていく必要があると考えています。

5 快適な生活基盤の整備 (P33)		
67	下水道事業は、衛生面でも非常に重要な生活基盤だと思うが、市街地での整備計画はどうなっているのか。	(上下水道部) 整備計画については、別添「市街地下水道整備事業について(浜田処理区)」をご参照ください。
68	下水道事業の汚水処理人口の普及率について、浄化槽と下水道との比較をはっきりと示していただきたい。	(上下水道部) 汚水処理人口普及率の内訳は下記のとおりです。 下水道 25.4%(集落排水、コミュニティプラント含む) 浄化槽 22.7%(市設置、個人設置の合計)
69	下水道事業実施に関する「大義名文」を記述する必要はないか?	(上下水道部) 現状と課題に「大義名分」を記載します。 「◆下水道事業は、」以降を下記のとおり修正します。 【修正】 ◆下水道事業は、「生活環境の改善」と「公共用水域の水質保全」を目的とし事業を実施しています。令和2年度から・・・(以下修正なし)
70	民間の賃貸住宅に関して、戸建ての空き家が急増するが、空き家バンクへの登録を増やしても、条件的に良い物件ばかりではないため、購入する際の改築や減築に関する取り組みを強化していただきたい。	(地域政策部) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</div>
71	空き家も前入居者(昭和30年から40年代)が良しとしていても、今の世代(平成)には受け入れられない設備や現況があるため、空き家の改修に向かない物件も多くあります。特に賃貸での空き家対策を考え直しては?賃料が安いだけで貸す側にはメリットがないように思います。	(地域政策部) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</div>
72	県営住宅や市営住宅は、中耐(中層耐火建築物)で外部倉庫付は民間にない構造と設備なので、これらの強みをもっとアピールして入居者を促す必要があると思います。 設備改良やCATV、インターネット回線の導入などを全戸へ向けて進めて欲しい。	(都市建設部) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</div>
73	相続登記の申請義務化(2024年)に対し、所有者が今よりも明らかになれば、空き家対策も良い方向に進んでいくと思われそうですが、問題点も出てくると思うので、それに対する支援と対策を考えていただきたい。	(都市建設部) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</div>

74	<p>所有者が死亡している空き家を売る場合、解体するにしろ、まずは相続、次に土地の境界の明示が必要となります。(地籍調査が市街地に及べば問題ありませんが)相続した側からすると自分が住んでもいない物件を処分するには相当の労力がかかります。これらに対する相談窓口など対策を考えていただきたい。</p>	<p>(都市建設部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
VI 防災・防犯・消防部門		
1 災害に強いまちづくりの推進 (P 35)		
75	<p>「高齢者や障がい者といった要配慮者が利用する福祉避難所の整備」とあるが、どのようなことが整備内容になるのか、記載しては。</p>	<p>(総務部)</p> <p>福祉避難所の設置数の増加や、停電時に活用する外部給電器やバリアフリートイレの整備等の資機材の整備を想定しています。整備が必要な資機材が福祉避難所によって異なる部分があるため、具体的な記載はしておりません。</p>
76	<p>災害時の安全な避難所の設置、整備は重要。先日 9 日の台風に伴う大雨で、避難指示が出た地域の避難所が河川流域のため途中閉所し、新たな場所で開設があった。様々な状況を想定し、移動方法など地域の防災組織の重要性を感じた。「～地域における防災力の向上を図る必要がある。」では緊急性を感じない。自主防災組織は喫緊の課題として重要視すべきではないかと考える。</p>	<p>(総務部)</p> <p>「～地域における防災力の向上を図る必要がある。」は、前回の総合振興計画の表現に対するご指摘と拝察します。今回、自主防災組織の向上については、「地域防災の中心となる自主防災組織の設立や活動支援を行い、地域における防災力の向上に継続して取り組むとともに、地域防災を支える人材を養成し、市民が災害時に適切な避難行動が取れるようにする必要があります。」としており、自主防災組織の組織率の増加や活動支援は、市としても喫緊の課題と考えておりますので、重要性を高めた表現としています。</p>
77	<p>「…地域防災を支える人材を養成し…」とあるが、具体的に何をイメージしているのか？</p>	<p>(総務部)</p> <p>防災の専門家である防災士の養成を想定しています。</p>
78	<p>福祉避難所について、今般の防災メールでは触れられていなかったが、設置されていたのか。まだであれば、いつからできるのか。また周知方法は。</p>	<p>(総務部)</p> <p>現在浜田市で 8 箇所ありますが、資機材や人員の整備について検討を進めている段階であり、今回の災害時では開設できておりません。</p> <p>令和 4 年度から順次開設できるよう進めており、開設すれば、防災無線や防災防犯メール、ケーブルテレビ等で周知を行ってまいります。</p>
79	<p>昭和 58 年、63 年災害の教訓が必要なことはわかりますが、最近の豪雨豪雪被害による取り組みも重要だと思います。</p>	<p>(総務部)</p> <p>豪雪被害についても対策が重要であり、取り組みを進めております。「災害発生のリスク」の災害のところに、その他の災害(地震、豪雪など)については含んでいると考えております。</p>

80	<p>防災ハザードマップの周知（特に町内会に対する）と住民理解を進める取り組みを進めてください。</p>	<p>（総務部）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
81	<p>島根県が公表している「島根県水防情報システム」や「しまね防災情報」などのサイトと連携した取り組みや呼びかけ、住民に対する周知を考えていただきたい。</p>	<p>（総務部）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
<p>2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進（P36）</p>		
82	<p>登下校時に子どもが巻き込まれる交通事故が全国でも後を絶たない。市内でも子ども達が日々通う通学路が、道幅の関係でガードレールや柵、路肩が設置できない細い路地が多い。</p> <p>個人的に、登下校時(登降園)交通量が多い路地は、時間的な交通規制やスクールゾーンを視覚的に表示できたら安心だと考える。</p>	<p>（総務部）</p> <p>ご指摘のとおりと考えております。通学路については、教育委員会や県と連携して、毎年合同点検を行い、危険箇所の改善に取り組んでおりますので、ご指摘のことも参考にさせていただき、今後も検討してまいります。</p>
83	<p>学校統廃合が進むことにより、子どもの通学路が長距離となることへの配慮や、高校生や大学生が安心して生活できるように防犯カメラを設置するなど、軽犯罪抑制や見守りを強化するために新たな設備投資について考えていただきたい。</p>	<p>（総務部）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
<p>3 消防・救急体制の充実（P37）</p>		
84	<p>「常備消防と非常備消防との連携」に触れた記述が必要ではないか？</p>	<p>（消防本部）</p> <p>消防団員が減少し、高齢化が進む中、現状に即した組織運営を模索し、装備品や資機材を充実する等、消防団の災害対応力の強化が必要となっています。また、消防団の方面隊制導入に伴い、三つの消防署と各方面隊の管轄がほぼ同一となることから、更に消防署と消防団の連携強化を推進する必要があります。</p>

1 地域コミュニティの形成 (P 39)

85 「地区まちづくり推進委員会」について具体的に説明して欲しい。

(地域政策部)

地区まちづくり推進委員会は、まちづくりセンターや小学校区等の範囲又は一定の世帯数でまとめた町等で組織し、一つの町内だけでは対応が難しい地域課題の解決や地域の活性化を図る、地域自治の組織や枠組みです。

現在、市内に 37 団体組織されており、自治会をはじめ地域で活動する高齢者・女性・若者等の各種団体など、地域にある様々な団体等と連携・協力し、それぞれの地域の特性や課題に応じたまちづくりに取り組んでいます。

なお、「地区まちづくり推進委員会」は、平成 17 年 9 月に浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町合併協議会で策定した「新市まちづくり計画」において、「地域の個性を活かしたまちづくり」のための一つの手法として考案されたもので、市は、その組織化と活動を支援しています。

2 人とつながる定住環境づくりの推進 (P 41)

86 少子化の要因の一つに晩婚化・未婚化…云々…結婚への意識醸成を図るとともに関係団体などが連携し、多様な出会いの場の創出…とあるが、非常に違和感を覚える。結婚という前提がなければ子供を産み育てられないのかとも思える発想で、あまりにも短絡的で時代感覚に乖離がありすぎると感じる。(根本から否定する意見かもしれないので申し訳ありません)

(地域政策部)

島根県が実施したアンケート結果によると、独身者のうち「結婚するつもりはない」と回答した独身男女は 9.4%と少なく、結婚を望むものの独身でいる方の結婚しない理由としては、「適当な相手にまだ巡り会わない」との回答が 44.8%と最も高くなっています。

これは、若者世代の意識の変化や地域のつながり、親族間や職場等での付き合いの希薄化などにより、出会いの場の減少していることが要因にあると考えられます。

これらを踏まえ、結婚への関心を高め、後押しする機運を醸成することが少子化対策の一助となるものと考えております(決して、結婚しないと子どもを産み育てることができないと言っているのではありません)。

87 U・I ターン者に市営や県営住宅への入居促進を考えていただきたい。
市内は単身者用物件の新築が多く、2DK以上の世帯用物件の新築が進まないことや、新築されても家賃が高いため、民間で物件を選ぶ上での問題があると思うため。

(地域政策部)

取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。

88	「協働・共創による問題解決」とあるが、「共創」という言葉の説明が必要ではないか？	(地域政策部) 協働と共創は類義語であり、混乱を招かないために“共創”については削除します。 ※「協働・共創による課題解決」⇒「協働による課題解決」とします。
4 人権を尊重するまちづくりの推進 (P43)		
89	子どもへの虐待がコロナ禍で増えていると聞く。子どもの人権を守るために、「子どもの権利条約」で保障されている権利が生まれながらに備わっていることを、子ども自身や大人も知る機会が必要と考える。人権教育・啓発の中に、「子どもの権利条約」を加えて欲しい。	(地域政策部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
90	人権課題において、啓発活動を行ってもいつも参加する人はするし、来ない人は全く来ないということになりがちで、知的理解も限定的という印象である。関心を持つ人の裾野を広げるには、気軽に参加できるイベント（あまり直接的に人権学習について触れない等）のようなものも一考してほしい。	(地域政策部) 取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。
5 男女共同参画社会の推進 (P44)		
91	女性の社会進出に関する意識改善は必要な事と思うが、そこにこのグラフ「家庭内の仕事の役割分担」を持ってくる意味が分からない。家事の分担となると依然として女性の役割が多いのは現実であり、このグラフの項目も意図的なものを感じてしまうので、客観的な資料としてはふさわしくないと思う。そもそもこのデータは浜田市調査なのか分からない。	(地域政策部) 女性がその能力を發揮し、あらゆる分野で活躍を目指す中、現実には、家事や育児等に関わる女性の負担は多く、固定的な役割分担が未だ解決されずにいます。女性の社会進出を阻む一因となる固定的な役割分担意識をなくすことが、女性の社会進出に、そして男女共同参画の実現につながる一歩になると考えます。 ご指摘のとおり、女性の社会進出に直結するものではありませんが、このグラフは、浜田市における役割分担の実態を表すものとして掲載いたしました。 データは、男女共同参画推進計画に関わる浜田市民への意識・実態調査の結果であり、グラフの項目は、国・島根県・他市においてもほぼ同じ内容で調査を行っているものです。 また、ご指摘のグラフのデータについては「市民の」としか記述がなく、どこのデータなのか不明である点は、おっしゃるとおりですので、「浜田市民」という表記に改めたいと思います。 女性の活躍推進に関する「管理職等への女性の登用」や「政策・方針決定過程への女性の参画」の推進は引き続き重要な課題として捉え、「基本方針及び主要施策」に関わる数値目標としております。

92	<p>男女共同参画社会の実現に向けて、具体的にどのような取り組みを行っていくのかを尋ねたいです。</p> <p>私は、男性が積極的に育児休暇を取れるような環境づくりを行えば、家事や育児などを行う女性の比率を少しでも下げることができるのではないかと思います。</p>	<p>(地域政策部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
地域別計画		
1 浜田地域 (P 45)		
93	<p>「浜田市協働のまちづくり推進条例」施行に伴い「各地区共通項目」の設定は考えていないのか？(例)「地域の個性を活かした協働のまちづくり」</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>各地区共通項目については、地域別計画ではなく、地域振興部門での設定を考えております。主な事業や取組については、協働のまちづくり検討部会で策定中の「浜田市協働のまちづくり推進計画」の取組と連動していきます。</p>
94	<p>「地域コミュニティの体制づくりを進めることが必要」とあるが、どのように何を進めるのか。体制づくりに必要な支援または人材はどのようなのか、もっと具体的に。</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>具体的な取組内容については、主要施策の部分でも記載させていただきますが、より細かい進め方については、地域との話し合いを重ねる中で、情報提供や人的・財政的支援など実情に応じた支援を行ってまいります。</p> <p>地域づくりに必要な人材としては、地域課題の解決に向けた取り組みを牽引する地域リーダーをはじめ、まちづくりに主体的に関わる人を増やしていく必要があると考えております。また、NPO・ボランティア団体など、地域内の各種団体とも連携し地域コミュニティの体制づくりを進める必要があると考えております。</p>
95	<p>ホテルが建設されたが、本当に浜田市にお金が落ちているのかを知りたい。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>ホテルルート INN 浜田駅前(R1.9 開業)と東横 INN 浜田駅北口 (R2.9 開業) の建設により、市内の宿泊施設の収容定数は約 800 人増えました。令和 2 年は、火電関係の需要やコロナの影響等がありましたが、2 施設の宿泊者数は約 56,000 人でした。ホテル建設による固定資産税などの市税の納付のほか、宿泊に伴う飲食店などの周辺施設の利用や、施設維持にかかる業務等により、具体的な数字は不明ですが浜田市への経済効果はあったものと考えます。</p>

96	<p>「はまだお魚市場」は県外市街客層に加え、市民も足を運びたくなる仕掛けが必要と考える。商店街の空き店舗も同様で、大学生や市民の交流イベントとして空き店舗を利用できないか。駅前道路整備で利便性が上がった。駅前整備に(旧)岩多屋跡地利用も視野に入れて欲しい。</p>	<p>(産業経済部)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>取組や施策については骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>
全部門		
97	<p>現状と課題にプラス、これからどうしようと考えているのか、という浜田市の考えを知れたらもう少し分かりやすいかなと思います。</p>	<p>(事務局)</p> <p>これからの浜田市の考えについては、部門別(地域別)の「基本方針」や「主要施策」に記載していきます。</p>
98	<p>現状と課題がたくさんあるのは理解できたのですが、実際に課題解決をするのにどのくらいの時間をかけて行うのか。 課題解決の全てを実現するのは可能だと考えているのでしょうか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>後期基本計画期間の4年間で課題解決に向けた取組を行ってまいります。課題によっては、人口減少のように短期的に改善することが難しいものについては、長期的、また、総合的な取組を進めてまいります。</p> <p>全ての課題解決を行政だけの取組で実現することは困難であり、市民、まちづくり活動団体、事業者、行政が連携し、協働による課題解決に向けた取組が必要だと考えます。</p>
99	<p>15才から18才の中学生、高校生が、10年後に25才から28才になった時、浜田市住みたいと思うために何ができるかという施策を一番に考えていただきたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>令和3年度に浜田市内に在住する概ね19才から39才までの委員で構成する「若者会議」を設置し、若者が住み続けたいと思える浜田市を目指し、若者に効果的な政策を考えていくこととしております。</p> <p>この若者会議と連携し、また、中高生アンケート結果を参考にした若者世代の定住に繋がる施策を考えてまいります。</p>
100	<p>マイナスポイント(否定的な意見や言葉)ばかりではなく、肯定的なこと(他の市町村に比べて優れているところ、素晴らしいと思えること、頑張っているところ、増加したポイント、工夫しているところ)などを具体的に記載してほしい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>計画の構成が「現状と課題」→「課題解決のための方針や施策」という作りとなっており、課題(マイナスポイント)の記載が多くなっております。「現状」の部分で肯定的な事案があれば、記載していきます。</p>

101	<p>浜田市は情報発信下手、どの部門においてもアピール不足だと思います。市民でも知らないことを、市内はもちろん、市外に向けて情報発信ができていますのか疑問です。SNSを多用した発信、浜田市ホームページの一新、防災防犯メール（キャリアメール向け）の登録やメール発信だけでなく、アプリを活用したプッシュ通知など、スマホ・タブレットで情報を得られる内容や対応を進めてください。一方で、高齢者向けにどのように伝達するのか、同時に進めることが重要だと思います。</p>	<p>（事務局） 従来の情報発信に加え、アプリの活用などの新たな情報発信の方法を検討してまいります。</p>
人口減少対策		
102	<p>特殊出生率を維持、もしくは上昇させる考え方よりも、万が一「2」を切っても維持できる社会づくりも同時に考える時期にきていると思います。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人口減少対策については、骨子案を説明した後、本日いただいたご意見を踏まえ、次回お示しします。</p> </div>